

レジデントアーティストオーディション 参加申込書

申込締切日 2022年2月10日(木) 当日必着

ふりがな 個人名 (グループの場合は代表者氏名)	生年月日	年齢
団体名 <small>※団体でお申込される場合は、ご記入ください。</small>	楽器 (編成)	
住所		
連絡先		
自宅電話:	E-mail (PC):	
携帯電話:	E-mail (携帯):	
これまでのご自身(グループ)による音楽経験・経歴を簡単に記入ください。		
オーディションに関する事前調査 演奏予定曲目 ・ ピアノ使用の有無 ・ 伴奏者の有無(伴奏者はご自身で手配してください)		

※上記個人情報は、レジデントアーティストオーディションの連絡用のみに使用し、他の使用目的、第三者への譲渡・閲覧等には使用しません。

承諾事項

記録用に主催、協力団体が音声録音、動画・写真の撮影を行う場合があります。主催・協力団体は、活動を紹介する目的で参加者の写真/映像/コメントを使用する場合がございます。これは、主催・協力団体の出版物、ウェブサイト、広報資料、SNSチャンネル(Twitter、Facebookなど)に参加者の写真/映像/コメントを掲載する可能性が含まれます。

上記、記録録音、撮影について承諾します。

年 月 日 署名

※センター職員記入箇所

受付日		担当者	
-----	--	-----	--

お申込・お問合せ先

- ▶ 郵送にてお申込下さい
豊中市立文化芸術センター「レジデントアーティスト係」 ☎561-0802 大阪府豊中市曽根東町 3-7-2
- ▶ お問い合わせ先
豊中市立文化芸術センター 06-6864-3901 (9:00-20:00/月曜・年末年始休館) / info-bungei@toyonaka-hall.jp
WEB サイト <http://www.toyonaka-hall.jp/>

豊中市立文化芸術センター
レジデントアーティスト
アートコーディネーター
人材育成事業



地域で活躍するアーティスト育成事業

レジデントアーティスト第3期生 採用オーディションのお知らせ

レジデントアーティストオーディションにあたって

豊中市は、文化芸術の力を活かしたまちづくりを推進しています。市内には大阪大学や大阪音楽大学があり、将来、文化芸術の分野やアーティストとして活動する若い人材が多くいます。そんな、まちの文化芸術のハブとして、豊中市立文化芸術センターでは、地域と密着して様々なコンサートやワークショップ、展覧会などの事業を行ってきました。

その中で、2019年度にレジデントアーティストと市民アートコーディネーターの育成を目的とした人材育成事業「とよなかARTSワゴン」をスタート。オーディションによって選ばれたレジデントアーティストは、アートマネジメントについての研修や市内の小学校へのアウトリーチなどを行い、2年間の任期終了後は、豊中市立文化芸術センターが運営する「とよなかアーティストバンク」に登録され、引き続きアウトリーチやイベントに参加し地元アーティストとして活躍していきます。市民アートコーディネーターは、地域社会に文化芸術をつなぐ役割を担っていくことを目標に、豊中市の地域課題を知り、制作ノウハウだけではなくファンドレイジングの基本的な考えの習得など、実際に活動していくための知識や経験を獲得するプログラムを受講します。

新型コロナウイルスの影響で社会が大きな変革をしていく中、そのニーズやシーズに対応していくべく様々な企画を追加した新しい「とよなかARTSワゴン」を展開しています。今回4年目を迎えるにあたり、3期生となるレジデントアーティストオーディションを実施することといたしました。

豊中に根ざした、豊中を代表するアーティスト、そしてアートと人とをつなぐコーディネーターを育成し、豊中市全体で活気のある地域社会の実現をめざす「とよなかARTSワゴン」人材育成事業。そのひとりとして音楽を豊中に届けたい熱意あるアーティストの応募をお待ちしています。

オーディション

一次審査：書類審査

2022年

2月10日(木) 必着

二次審査：演奏審査

2022年

3月11日(金) 15:00 ~

会場：豊中市立文化芸術センター 小ホール

《オーディション募集要項》

● 目的・活動内容

- ① 市民と交流を深めながら様々なイベントに出演し、地域密着のアーティストとして活動する
- ② アウトリーチの知識・経験を積み上げ、市内の様々な場所に音楽を届ける
- ③ コンサート/ワークショップを自ら計画・実施する事ができるアーティストとなる
- ④ 地域社会のニーズに対し、文化芸術を通じてどう関わっていくのかを考え、アイデアをもつ
- ⑤ 豊中で活動する他のアーティストやコーディネーターとも連携し、新たに創造を生み出し、これからの活動につなげる

【活動内容】

アートマネジメント講座への参加、市内へのアウトリーチ活動
豊中市市民ホール等指定管理者が主催する公演への出演 他

※これまでの活動履歴は
コチラをご覧ください→



● 応募条件

【応募資格】

豊中市内でプロまたはプロとして活動を始めようとしている音楽家個人または団体。

センターが指定するイベントにすべて参加できる事。

2022年4月1日現在 満20歳以上満35歳以下。

音楽のジャンルは問いません。但し、ソロまたは5名までのアンサンブルの範囲内。

【活動期間】

2022年4月から2024年3月末まで。期間終了後「とよなかアーティストバンク」へ登録され、引き続き活動していただく予定です。

【参加料】

オーディション参加料は無料です。ただし、会場までの交通費や宿泊費、共演者への謝礼、その他一切の経費については自己負担となります。

【レジデントアーティスト謝礼】

レジデントアーティストとして活動していただく際、謝礼金として1年につき¥300,000（消費税・諸経費込）を該当年度末にお支払いします。この金額には研修・ミーティング・実演それらの準備に関わる経費を含みます。

※謝礼金は、個人であってもグループであっても同額です。

※謝礼金の「実演」に含まれるものは、年10回以内のアウトリーチおよびロビーコンサート、リサイタル公演（2年次）です。

※11回を超えるアウトリーチに関しては別途謝礼金をお支払いいたします。また、上記以外のイベントに出演していただく際は別途謝礼金をお支払いいたします。

● オーディションについて

■一次選考（書類審査）

募集要項裏面の申込用紙に必要事項を記入の上、**2022年2月10日（木）必着**で郵送にてお送りください。

選考の結果は、2月15日（火）以降に書面にて通知いたします。通過者には併せてオーディションの詳細をお送りいたします。

■二次選考（演奏審査）

書類審査合格者を対象に行います。10分程度の演奏プレゼンテーションを行っていただきます。その際、審査委員からの質問にお答えいただけます。**採用は最大2組です。**

可否の結果発表は、3月中旬以降に書面にて送付予定です。

■選考にあたって

音楽の技術的な部分はもちろんの事「地域の人々に音楽を届けるために様々な取り組みができる」「地域の方々とコミュニケーションをとる事ができる」「地域とアートをつなぐアイデアがある」の点についても考慮して選考します。

なお、可否理由についてはお答えいたしかねます。

《選考から活動（1年目）の流れ》

2022年

【選考期間】

2月10日 応募締切（当日必着）

2月15日以降 書類選考結果通知

3月11日 2次選考（演奏による審査） 場所：豊中市立文化芸術センター 小ホール

3月中旬以降 2次選考結果通知

【活動期間（1年目）】

4月23日 国 オリエンテーション・宣材写真の撮影（予定） 会場：ミーティングルーム1他

5月上旬 プロモーション動画作成の開始

6月4日 国 とよなか ARTS ワゴン フェスティバル2022 会場：中ホール（アクア文化ホール）

6月18日 国 アートマネジメント講座「アートってなんだろう?① 講師：大澤寅雄」 会場：ミーティングルーム

6月19日 国 アートマネジメント講座「アートってなんだろう?② 講師：大澤寅雄」 会場：ミーティングルーム

6月25日 国 アートマネジメント講座「アートってなんだろう?③ 講師：山下里加」 会場：ミーティングルーム

7月9日 国 アートマネジメント講座「アートってなんだろう?④ 講師：柿塚拓真」 会場：ミーティングルーム

7月16日 国 アートマネジメント講座「アートってなんだろう?⑤ 講師：久保田テツ」 会場：ミーティングルーム

7月23日 国 アートマネジメント講座「アウトリーチを考える 講師：長野隆人 他」 会場：ミーティングルーム

7月24日 国 アートマネジメント講座「アウトリーチを体験する 講師：菱川浩二・新崎洋実」 会場：多目的室

9月~10月頃 アウトリーチオリジナル制作合宿 会場：練習室2他

10月中 アウトリーチ ランスルー 会場：調整中

2023年

11月以降予定 豊中市内小学校へのアウトリーチ活動（各グループ1校以上） 会場：調整中
※数か月間にわたって活動する場合があります。終了後アウトリーチ実施報告書を提出していただきます。

3月25日 国 「こどもアートの日2023」 会場：豊中市立文化芸術センター／ローズ文化ホール

2年目の活動

- ・豊中市内小学校へのアウトリーチ（1校以上）
- ・リサイタル公演の実施
- ・とよなか ARTS ワゴンフェスティバルへの出演
- ・「こどもアートの日」への出演
- ・アートマネジメント講座への参加
- ・とよなか ARTS ワゴン関連事業への参加（任意） その他、豊中市市民ホール等指定管理者から依頼する各種公演

《オーディション審査委員について》

菱川浩二（ひしかわ こうじ）／本事業プログラムディレクター

1973年生まれ。流通企業から転身し文化施設の運営に携わる。地域公民館から自然体験宿泊施設、広報制作、ホール事業制作、マネージャー業務、指定管理者制度対策担当等、文化施設に関わる数多くの業務を経験。その中で、市民自立型文化活動システムの構築、購買層を広げる地域サロンコンサート「歩いていける音楽会」、全年齢層に対してのアウトリーチプログラム開発など、斬新な文化事業のカタチをつくりあげた。統括責任者として長年籍を置いた多治見市文化会館では県内初の総務大臣賞を受賞。また、アウトリーチアーティストの人材育成事業にも関わっており、2016年には（一財）地域創造の公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム広島セッションコーディネーターを務めた。他にも施設運営の業務改善研修や指定管理者制度のコンサルティングを行うなど活動の幅は広い。桐朋学園芸術短期大学非常勤講師

著書に『指定管理者は今どうなっているのか』（共著、水曜社）

西村理（にしむら おさむ）／大阪音楽大学・大学院ミュージックコミュニケーション専攻教授

1972年生まれ。国立音楽大学卒業。東京藝術大学大学院博士後期課程およびウィーン国立音楽大学博士課程で学ぶ。博士（音楽学）。現在、大阪音楽大学・大阪音楽大学大学院ミュージックコミュニケーション教授。主たる研究領域は20世紀初頭のウィーンおよび大阪の音楽文化。NHK交響楽団編集協力を務め、そのなかで音楽と現代社会との関係について考えるようになる。大学では西洋音楽史関連の授業のほか、ミュージックコミュニケーション専攻で企画運営についても教えている。著書・監修に『よくわかるクラシックの基本』（西東社）ほか。

朝倉祥子（あさくら しょうこ）／豊中市立文化芸術センター総合館長

桐朋女子高等学校音楽科（音楽理論専攻）を経て、桐朋学園大学（管楽器、オーボエ専攻）を卒業。卒業後1年間ロンドンに留学し、その後、1979年ヴィエール・フィルハーモニック（現・関西フィルハーモニー管弦楽団）に入団。32年間、首席オーボエ奏者を務める。2011年より相愛大学に非常勤講師として勤務。2011年、演奏職を退き事務局長に就任。自主公演制作や関西フィルヨーロッパ公演の企画、実施など楽団運営に携わる。2016年12月、関西フィルハーモニー管弦楽団を定年退職。2017年1月より豊中市立文化芸術センター総合館長に就任。